

夏の電力需給対策に関する当協会の見解について

平成23年4月25日
日本チェーンストア協会
会長 亀井 淳

この度の東日本大震災で被災された皆様に対しまして、心からお見舞いを申し上げます。

さて、東日本大震災に起因して東京電力及び東北電力管内における夏の電力供給力不足が予想される中、大規模停電等の不測の事態を防ぐため、両電力管内の国民一人一人の協力と英知の結集が求められているところです。

有意なチェーンストアにより構成され、小売業界の中核に位置する当協会では、かねてから環境保全自主行動計画等を通して使用電力の削減に努めてきたところですが、今回の緊急事態と政府からの協力要請を踏まえ、夏の最大使用電力の抑制に一丸となって取り組んでまいり所存です。

その一方、私たちの日常生活が過度に萎縮し経済が収縮してしまうことは、被災地も含む日本経済社会の復旧・復興にとって大きな悪影響をもたらすこととなります。私たちは、日常生活を維持し、経済活動が停滞しないように前を向いて歩いていくことが大切であり、したがって私たちの社会は、最大使用電力の抑制と日常生活の維持や経済活性化の両立を目指して知恵と工夫を総動員することが求められています。

特に地域・規模・業態等において多様なチェーンストア企業は、多くの雇用機会を提供しつつ、衣食住に亘る様々な生活必需品を日々消費者にお届けするというラ

イフライン機能を担っており、今回の大災害においても、被災地域及び全国各地の日常を支えるべく各社懸命に取り組んでまいりました。かかる社会的使命を全うし、生活者一人一人の日常生活をお支えするためには、「お客様のためにお店が開かれている」ことが、ことのほか重要なこととなります。

このため、私たち日本チェーンストア協会は、夏の最大使用電力の抑制を前提としつつも、店舗における営業活動を全力で続けていくことを目指したいと考えております。

そのための対策としては、先ず店頭での節電の知恵と工夫が挙げられます。典型的な対策として、店内の空調調整、照明調整、冷凍冷蔵庫等の温度管理、エスカレーター等の稼働調整等があげられますが、もちろん、場所・規模・取扱商品等店舗の特徴に応じて具体的に取り得る対策も異なるものでありますし、対策を実施していく上で、お客様の安全と食品衛生等商品の品質管理に万全を期することが前提となることは言うまでもありません。お客様には大変ご不便、ご迷惑をおかけ致しますが、私どもはお客様とご一緒に節電に努めてまいりたいと思っておりますので、何とぞご理解ご協力をお願い申し上げます。

また、当協会としては、節電に寄与するような商品開発や節電に起因する商品供給不足等の事態を防ぐ生産体制の構築のみならず、冷凍食品の温度管理、商品発注のリードタイムや納品頻度、入荷基準や販売期間の見直しなど、メーカー等を含むサプライチェーン全体として取り組むべき課題についても呼びかけたいと考えております。

更に、政府等に対しては、少しでも多くの電力供給力の増強、正確な情報提供や国民に対する正しい理解に基づく積極的な節電の呼びかけ、自家発電に必要となる重油の価格対策や供給対策を始めとして、適切なリーダーシップとサポートをお願い申し上げます。

私たち日本チェーンストア協会は、お客様、取引先を始めとする関係企業の皆様、政府とともに協力し、互いに知恵を出し合うことにより、電力供給不足の克服と日常生活の維持及び経済活性化との両立を目指していきたくと考えております。

以上